

建設経済常任委員会

まちづくり基本調査の取り組み

虎居地区23ヵ所の基本計画書作成

防災の観点から水害被害の大きかった虎居地区の約23ヵ所の区画整理事業を前提に基本計画書の作成を検討し、本年度は、計画書作成と並行して河川激特事業の計画の推移を見ながら、国道の拡幅などを県に要望すると共に、事業について地域の

合意形成を図ることとです。

総合振興計画等の

今後の進め方

災害復興など安心安全対策を優先

総合振興計画・過疎自立促進計画に基づく事業の実施については、財政状況等検討しながら、災害からの復興など安心安全対策を優先していくことです。

イチゴの炭疽病対策に向けた取り組み

プロジェクトチーム等を設置

炭疽病対策のために、県を中心に関係機関、団体、生産者代表で構成する「いちご炭疽病対策プロジェクトチーム」が設置されました。

本地域においても「現地指導チーム」を3月14日に設置し、重点的に支援や指導を行う体制づくりがなされました。



イチゴの健全苗の配付

米政策改革に伴う組織体制

事務局を町からさつま農協へ

平成19年度からは、さつま農協に事務局を置き、事業が進められることになりました。

1名を農協に派遣し、農協と町と連携して業務を進めるという組織体制をとることとです。

当面の間、町から職員

水田の汎用化

排水対策の希望調査を実施

排水不良の水田が多く、裏作が思うように進んでいない現状。

早い段階（40年代）で整備したほ場整備地区や未整備地区は、排水不良

の水田もあることから、今後、希望調査を実施しながら水田の汎用化に努めていくとのこととです。

※水田の汎用化

排水路、暗渠排水などの整備を行い、水田を水稻作及び畑作のいずれにも利用できるようにすること。

